



Meiji Seika ファルマ株式会社



KMバイオロジクス株式会社

## NEWS RELEASE

2024年3月14日

報道関係各位

### 百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ・Hib 混合ワクチン 『クイントバック®水性懸濁注射用』新発売のお知らせ

Meiji Seika ファルマ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林大吉郎、以下「Meiji Seika ファルマ」）とKMバイオロジクス株式会社（本社：熊本市北区、代表取締役社長：永里 敏秋、以下「KMバイオロジクス」）は、5種混合ワクチン『クイントバック®水性懸濁注射用』を本日販売開始しましたのでお知らせします。

『クイントバック®水性懸濁注射用』は、既存の4種混合ワクチン（百日せき、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ混合ワクチン）である『クアトロバック®皮下注シリンジ』に、ヘモフィルスインフルエンザ菌 b 型（Hib）の抗原成分を加えた5種混合ワクチンです。

5種混合ワクチンは2024年4月からの定期接種導入が予定されています。本ワクチンの実用化により、小児期における同種のワクチン接種回数がこれまでの8回から4回に削減され、お子様及びご家族の皆様の負担軽減に繋がります。

また、Hibの抗原成分はKMバイオロジクスが開発したもので、本ワクチンに使用する抗原はすべて国内生産しています。KMバイオロジクスは、開発優先度の高いワクチンの開発要請（平成25年12月16日付・健感発1216第1号）に応じて、本ワクチンの開発を進めてまいりました。

『クイントバック®水性懸濁注射用』は、KMバイオロジクスが製造販売承認を取得し、製造を担います。Meiji Seika ファルマは『クイントバック®水性懸濁注射用』の販売を行い、医療機関への情報提供・収集を担当します。明治グループのMeiji Seika ファルマとKMバイオロジクスは、ワクチンで防ぐことのできる感染症からお子様を守ることで、健康で豊かな未来に貢献してまいります。

以上

<5 種混合ワクチンで予防が期待される感染症>

|                 |   |
|-----------------|---|
| 百日せき            | 激しい咳をともなう病気で、乳幼児では呼吸ができなくなるために全身が青紫色になってしまうこと（チアノーゼ）やけいれんを起こすことがあります。また、窒息や肺炎等の合併症が致命的となることがあります。 |
| ジフテリア           | ジフテリア菌が出す毒素が心臓の筋肉や神経に作用することで、眼球や呼吸に必要な筋肉などの麻痺、心不全等を来たして、重篤になる場合や亡くなってしまう場合があります。                  |
| 破傷風             | 破傷風菌が傷口に入り込んで感染し、菌が出す毒素によって、口が開き難い、顎が疲れるといった症状に始まり、歩行や排尿・排便の障害などを経て、息ができなくなって亡くなるなど、致命率の高い病気です。   |
| 急性灰白髄炎<br>(ポリオ) | ウイルスが人の口の中に入って、腸の中で増えることで感染します。ウイルスが脊髄の一部に入り込むと、主に手や足に麻痺があらわれ、その麻痺が一生残ることがあります。                   |
| Hib 感染症         | Hib の感染による重篤な疾患として、肺炎、敗血症、髄膜炎、化膿性の関節炎などが挙げられ、亡くなることもあります。特に髄膜炎の場合は、難聴などの後遺症を残すことがあるといわれています。      |